

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

水質科

平成12年12月4日

第35報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Anabaena spiroides</i> var. <i>crassa</i> *	1		
(黄) <i>Botryosphaerella</i> sp.	240		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	300		
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	54		
(珪) <i>Melosira varians</i>	9		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	24		
(珪) <i>Stephanodiscus</i> sp.	10		
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	40		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	39		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	16		
(珪) <i>Synedra acus</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	140		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	10		
(藍) 藍藻綱	1	0.1	1.1
(黄) 黄緑藻綱	240	25.7	2.2
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	354	37.9	34.3
(珪) 珪藻綱	148	15.9	15.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	180	19.3	45.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	10	1.1	1.2
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	933	総体積	5.39E+05
種類数	14	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

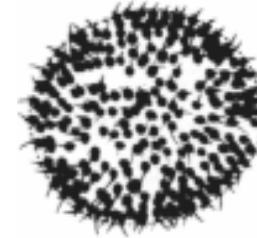
動物プランクトン

第1優占種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Synchaeta oblonga</i>	240

第2優占種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	140

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Synchaeta oblonga
(ナガマルドロワムシ)
輪虫類

体は円錐形で足は短く、先端の爪は微小である。体長は225~345 μm 。体側は縦の条線があるのが特徴である。

コメント:

植物プランクトンは、淡水赤潮の原因となるウログレナが優占種となった。毎年この時期に本種が観察されるが淡水赤潮を形成するほど増加した例はない。動物プランクトンはナガマルドロワムシが最も多かった。本種は夏季に少なく冬季に多く出現する。